国労盛岡

発行所　国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者　齋藤庄司
編集者　沢田光広
TEL 019-622-5021
メールアドレス
nrumori@poem.ocn.ne.jp

2013.8.10
第1460号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを皆の力で」

「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。加入まってます」

青森支部組織拡大対策会議

活動をしっかりと示し拡大行動を

＝新採配属で職場環境変化の報告＝

青森支部は、3月に開催された第6回に続く「第7回支部組織拡大対策会議」を青森県労働福祉会館において7月6日に機関代表者27人参加の中で開催した。この間、新規採用者がそれぞれの職場に配属となり参加各職場の環境も変化する中、新しい年度での組織拡大への取り組みが参加者から報告され、若手の他労組組合員に国労の活動をしっかり示し拡大行動を進めていくことなどを確認し終わった。地方本部からは佐々木書記長、菊池組織部長が参加した。

ミニ分散会で現状を出し合う

笹山支部副委員長の開会あいさつで始まった会議は、慣例により座長に阿部支部委員長を選出し進められた。

冒頭、阿部委員長は「国労の最重要課題であり喫緊の課題として取り組んでいる組織拡大では、全国各地から拡大の報告が届けられている。20代から50代まで幅広い年代で、再加入の方や新規採用者、社会人採用者に国労の仲間に加わっていただいた。しかし、本部が目標として設定した千人には届かない状況であり、これからも組合員の全員参加で組織拡大の達成に向け行動していかなければならない。うれしい報告も届いている。秋田地本において6月21日付で東労組から国労へ加入となった宮崎和孝さんは、現在、退職者の会事務局長でわれわれの先輩でもある宮崎孝さんの息子さんであり、お父さんの働く姿と国労組合員としての生き方に感銘をうけ国労に加入したそうで、孝さんも父親として大変によろこんでいらした。今後も集会への参加を約束いただいているが、若い力として歓迎したい。組織拡大は今すぐに取り組まなければならない課題だ。この会議を機会として、参加者の皆さんのさらなる奮闘を期待したい」とあいさつした。

続いて地方本部佐々木書記長があいさつし、佐々木支部書記長が議案を提起した。佐々木支部書記長は、①現状の認識について②今後の具体的な取り組みについて提起し、ミニ分散会の進め方について説明した。その後、4人を1組としたミニ分散会を開催し各班の班長が集約後、6班中の4班が報告した。若手社員が早い時間に寮に帰りたがらない状況や、運転士職場の状況などが報告され、菊池地本組織部長と佐々木支部書記長がまとめをおこなった。

＝意思統一を図った青森支部組織拡大会議＝

佐々木支部書記長は「今回はミニ分散会を取り入れたが、参加者全員が意見を出しあえるように設定した。今後も形を変えながら行っていきたい。若手東労組組合員が不満をもっている声も聞こえてきている。声をかけていくとともに、国労の活動をしっかり示していくことも重要である。支部・地本も先頭に立って取り組みを進めていきたい」とまとめ、第7回の会議を終了した。

全体交流では和気あいあいとした雰囲気の中、全員が隣に座った仲間の紹介をおこない、組織拡大への意識を高めあった。最後は阿部支部委員長による締めの「団結ガンバロー」で力強くコブシを突き上げ、これからの奮闘を誓いあった。

◇支部執行委員　高瀬　貴弘◇

当面の主な日程

▽8月22日（盛岡）第11回地方本部執行委員会
▽8月26・27日（盛岡）地方本部会計監査
▽8月31・9月1日（盛岡）第7回地方本部組織拡大対策会議
▽9月8・9日（盛岡）盛岡支部組織拡大対策会議
▽9月9日（安比）第1回東日本本部杯ゴルフトーナメント
▽9月28日（盛岡）地方本部ボーリング大会

技術継承・人材育成や安全対策等で意見交流

◇地方本部主務職交流会◇

「主務職交流会で議論する参加者」

「国労盛岡地本主務職交流会」が7月21日（日）13時30分から国労会館4階の会議室で開催された。「主務職」はJR東日本の新人事・賃金制度によって新たにつくられた職名で主任職と助役職の中間に位置する一般職だが、人事以外は助役と同等の業務であり人事考課次第で助役職が発令される立場にある。

一括和解以降盛岡地本内では助役試験に2人、主務職試験に5人が合格し、主務職として現在業務を行っている方々の業務内容や悩み等を率直に出し合い、国労運動に生かし共有する場として関係者12人が参加し交流会は開催された。

座長に齋藤委員長を選出し、佐々木書記長の情勢報告をうけ、参加者の自己紹介のあと①研修の状況②会社の対応③職場の状況④地方本部への要請等を現状報告として出してもらいながら交流を図った。研修の在り方や技術継承・人材育成・安全対策等、各職場が抱える課題が報告された。

主務職の国労組合員が仕事の中心に位置することで、これまでにない役割を果たせる要素が拡大し、このような有利な状況を国労運動に生かして行くことが求められている。来年以降も同種交流会を開催することを確認して閉会した。

第2回地方本部ボーリング大会

と　き　2013年9月28日(土)
ところ　ラウンドワンスタジアム盛岡店
参加チーム　各地区代表14チーム予定
表　彰　団体・個人3位まで予定

第82回定期全国大会に参加して

変化が見える大会、組織拡大に全力

代議員　佐藤都久雄（北上駅連合分会）

第82回定期全国大会は、7月25・26日伊東市のホテル聚楽で開催されました。

田中副委員長は開会で、「職場を基礎に労働者の要求を大切にし、要求の多数派から組織の多数派へ全力を挙げることを今大会で確認したい」とあいさつ。議長団に、宮崎代議員（東京）・佐藤代議員（仙台）を選出し議事が進みました。

あいさつに立った石上委員長は◎労働者を取り巻く環境は最悪。戦争への道を進ませない起こさせない取り組みをしなければならない◎安全第一の企業文化を構築するために安全仕事総点検運動に精力的に取り組む◎組織強化拡大は全ての運動の原動力。職場の問題の解決と国労加入とを繋げていくことが求められている◎JR産別として社会的責任を全うすべく怯むことなく歩みだす決意を固め合うことを訴えました。

弁護団からは、宮里弁護士が「自民党の改憲論者は反組合主義者です。改憲に反対は、労働者の権利を守ることに繋がる。護憲運動の先頭に立つ運輸分会での組織拡大の報告。方針で小林代議員が①被災線区の現状と復旧・岩泉線について国に要請を②組織拡大は、攻めの姿勢で取り組む③ナショナルセンターについて議論を開始しようと発言しました。

討論を受け、真子書記長が◎国労運動を次代に引き継ぐ責任があること◎共闘はさらに連携を強めること◎14春闘は、職場・地域での闘いを組織拡大と結合する◎貨物の構造的矛盾の解消に国や国交省を動かす取り組みを行う◎JR北海道の安全問題は、実態把握と改善に向け国交省や議員要請に取り組む等を集約し、代議員の拍手で方針が確立されました。

主務職や40歳代と、代議員名簿を見るだけでも、国労に変化が見えます。「組織拡大を勝ち取らなければ」と改めて考えさせられる大会でした。

ていこう

第23回参議院議員選挙で、非改選議席を合わせると自民・公明で135議席となり参議院の過半数を与党が制するという結果に終わった。大方の予想通りといえる結果となり、〝アベノミクス〟への期待の表れかもしれないが、この結果を見るとき、未来への不安を感じるのは私だけではないだろう▼安倍首相は、「2030年代原発稼働ゼロ」を白紙に戻し、原発の輸出を約束しておきながら、自民党は原発問題にはほとんど触れなかった。しかし、今選挙の結果で原発は完全復活し、福島の事故以前のような原発政策が推し進められていくことになることは想像に難くない▼労働法制も大きく緩和されそうだ。派遣労働者は直接雇用の道を閉ざされ、終生派遣労働者のままでの労働を余儀なくされ、超過勤務手当は支払わなくてもよく、正社員といわれる労働者は、企業の都合でいつでも〝首切り〟が可能になるような法律が準備されている。貧困と格差の拡大は必至だ▼「聖域は守る。国益は守る。だから信じてほしい」と参加したTPP交渉も怪しい。信じてほしいという言葉の重みが、今回の選挙結果で非常に軽いものになるのでは、という不安が拭えない▼内閣法制局長官に集団的自衛権容認派を充てるという人事も不気味だ。直ちに改憲発議ができる勢力ではないとはいえ、解釈改憲により平和憲法が蝕まれていく恐怖は禁じ得ない▼もう反撃の余地はないのだろうか。いや、そんなことはないはずだ。戦争と差別のない国は多くの国民が望むこと。そこを足がかりに安倍包囲網を築こう。落ち込んでいる暇はない（髭）

第13回 地方電気協議会 定期委員会

職場での問題点を検証しよう

新議長に浮中氏（盛岡電気分会）を選出

＝協議会を代表し挨拶する佐藤議長＝

3月23日（土）国労会館４階会議室で、第13回盛岡電気協議会定期委員会（30人参加）が開催されました。

委員会は、浮中副議長の開会あいさつで始まり、委員会議長に花崎委員（盛岡電気分会）を選出した後、佐藤議長（一関工務分会）が、「メンテナンス体制及び改善・新青森開業が実施されて以降現在までの検証、問題解決に向けた取り組みを行う」とあいさつ。

続いて、地方本部佐々木書記長から安倍政権の自衛隊国防軍・憲法改正・原発推進と日本の方向性が危ない。７月の参議選では、又市征治氏を勝利させましょう。組織拡大の報告と今後の取り組み、春闘の経過（自分たちだけに利益を求める他労組に対し社員全員を対象に考える国労要求の違い）などの挨拶を受けました。引き続き東日本電気協議会高橋議長がメンテナンス体制改善後の職場実態における検証の取り組み、労働条件改善、人事賃金制度、若手７年教育の問題、６月に盛岡で開催される職場交流会準備のお願いなどの挨拶を受けました。その後経過報告、活動方針の提案を受け討論に入りました。

討論では多くの委員より、会社の方針である技術継承に関わる人事異動の問題（ベテラン社員は異動させ平成採用社員だけで担当テーブル又は一職場にする）、現場に行かず机上だけの若手教育、さらに境界作業の知識不足などあり今後安全作業・障害対応に不安、さらに事故につながる恐れがある問題、休日等の冬期体制が現場長独自の判断で人数を増やしてる問題、転勤の回数があまりにも多い（９年で５回異動させられ理由も納得できるものでない）、出向者からは、行く前は業務の担当を言われていたが、出向先では何でもやらされる実態、若手だけの職場になって組合員がいなくなり協議会規則の見直しが必要等の発言がありました。

遠堀（八戸工務分会）事務長の「職場の問題点の検証の取り組みを」とのまとめと６月の職場交流会への参加の呼び掛けが行われ、浮中新議長をはじめ新役員の選出が行われ、新議長の団結ガンバローで委員会を閉会しました。

新たに選出された役員（三役）体制は次の通り。

◇

議長　浮中　明（盛岡電気分会）
副議長　遠堀　勝義（八戸工務分会）
副議長　佐藤　祐司（盛岡電気分会）
事務長　美濃山　司（盛岡電気分会）

◇

〈報告〉美濃山　司

地方工務協役員（三役）体制

国労盛岡速報版（３月11日付）で紙面上割愛した地方工務協議会の役員（三役）体制は次の通り。

◇

議長　大平　四郎（盛岡施設分会）
副議長　浅井　敏治（八戸工務分会）
副議長　佐々木正衛（青森施設分会）
副議長　工藤　隆幸（青森施設分会）
副議長　荒矢　美登（盛岡施設分会）
副議長　小林　利明（盛岡施設分会）
事務長　奈良岡　勝（青森施設分会）

◇

原発のない福島の実現を心ひとつに

＝3.23 福島県民大集会に7000人が結集＝

＝盛岡地本からも4人が参加した＝

3月23日福島市のあずま総合体育館に７０００人が集まり「原発のない福島を！県民大集会」が開催されました。

平和環境岩手県センター代表団として30人（国労４人）が参加しました。

集会は11時からのアトラクションを終わり13時からの黙とうに続き、吉岡棟憲住職の開会のあいさつ「中通り、浜通り、もとどおり」で開会。

五十嵐実行委員長は、「原発は、収束には程遠く緊張状態が続いている。今は、原発災害の報道は少なく風化し再稼働の懸念がある。現状を訴え国と東電の責任で早急な取り組みを求めこの集会を開催した。私たちには、不安のない未来を創る責任と義務がある。参加者の意思を結集し全国に発信するためこの集会を成功させよう」とあいさつ。

呼びかけ人の、清水福島大教授が、「ネズミによる停電について笑いごとでない、福島原発がいかに危うい状況であるかを表している。放射能災害だけでなく事故そのものが収束していないことを改めて思い知らされた。福島における廃炉は達成可能であり、住民にとっては、十分至極の要求です。そのことを確認し実現する行動をすることの決意を固めるとを訴えました。

連帯のあいさつで、鎌田慧さんは、福島は終わっていないどうなるかわからないのが現実です。「私たちは何ができるのか」それが私たちに与えられた課題です。もう過ちは繰り返したくない。いま日本では54基の内2基の原発が稼働し8月には停止し原発が稼働しない時が来ます。その時にこそ絶対稼働させない。再稼働をさせない運動を大きくさせなければならないと決意しています。福島における廃炉は達成可能であり、住民にとっては、十分至極の要求です。そのことを確認し実現する行動をすることの決意を固めるとを訴えました。

連帯のあいさつで、鎌田慧さんは、福島は終わっていないどうなるかわからないのが現実です。「私たちは何ができるのか」それが私たちに与えられた課題です。もう過ちは繰り返したくない。いま日本では54基の内2基の原発が稼働し8月には停止し原発が稼働しない時が来ます。その時にこそ絶対稼働させない。再稼働をさせない運動を大きくさせなければならないと決意しています。福島を忘れない、福島の悲惨を繰り返さない、そして、福島の人たちの健康と生活を守り。共に闘い頑張っていくことを訴えました。

県民からの訴えでは、篠木（JAふたば代表理事専務）、佐藤（相馬双葉漁協組合理事）、高野（高校生平和大使）、鈴木（森林組合連合会）、菅野（県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長）、大越（県外避難者）、平井（福島子ども保養プロジェクト）、の方々から、自らの実体験を話し原発いらないを訴えました。

集会宣言では、「本当に『原発のない福島を』実現するために、お互いに支えあい心をひとつにして頑張りましょう」と結び全体で確認し集会は終了、岩手に向かう帰路につきました。

盛岡支部　佐藤都久雄

3・8青婦家中央行動

青年部の方々の明るさ前向きな姿勢が頼もしく

家族会（盛岡）　兼平　貴子

3月8日、２０１３年青婦家中央行動に、盛岡から佐々木香代子・中堤久江さんと私兼平の3人が参加しました。

当日は朝から春の陽気に包まれ気持のよい1日になりました。８時半から新橋駅周辺にてビラ配りの宣伝行動を行い「春闘勝利・労働条件改善」を目指して声を大にして呼びかけ、お願いしましたが、なかなかビラを受け取って貰えません。関心がないのかな？結局私は15枚位しか渡せず、難しいなと思いました。

その後、会場を交通ビルに移しての開会、加藤議長のあいさつに始まり、学習会「契約社員の実情を知る」をテーマに東京地本青年部長の中嶋さん、本部婦人部長の加藤さん、四国本部婦人部長の矢野さんから報告がありました。中嶋さんは、高校講師からＧＳ契約社員を経て現在に至るということです。

昼食後、国労本部の真子書記長より情勢報告を受け、その後、分散会・各グループに分かれて意見交換。時間が足りない位話が盛り上がりました。ＪＲ職場では契約社員が正社員以上に必死に働いても正社員への道は厳しく、雇用の在り方に問題があるとのことです。労働者が安心して働き続けられ、国民一人ひとりが穏やかに暮らせるように今の政治に関心を持たなければならない等、いろいろな意見が出ました。「国労の魅力は？」の問いかけには「団結力が強い。自然体でいられる。言いたいことが言える。全国に行っても必ず仲間がいるという安心感」という意見が多かったです。最後は、小原副議長の「団結ガンバロー」で会は終了しました。

青年部の方々の明るさと前向きな姿勢にとっても頼もしくなり、嬉しい気持ちになりました。私も国労家族の一員として、明るく同じ意識を持って進みたいと思いました。

皆さんのいろいろな思いが聞けて、私自身参加できてよかったです。有難う御座いました。

住宅ローン 適用金利のご案内
有担保　固定金利選択型2年もの　引下げ後金利 年0.70%
●金利引下げには一定の条件があります●別途保証料が必要です（団体会員の方の保証料は当金庫が負担します。）
無担保　固定金利5年　年2.50%（または）年3.00%　保証料込み
●「団体会員の方」「団体会員以外の方」で金利が異なります。●固定金利型（ご融資期間5年超7年以内、7年超10年以内）、変動金利型（ご融資期間20年以内）もご用意しています。
上記適用金利お取り扱い期間≫
【有担保】2013年4月1日から2014年3月末お申込み分まで
【無担保】2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで

マイカーローン
適用金利のご案内　固定金利5年　ご融資期間5年以内
年2.50%（または）年3.00%　保証料込み
●「団体会員の方」「団体会員以外の方」で金利が異なります。●固定金利型（ご融資期間5年超7年以内、7年超10年以内）、変動金利型（ご融資期間10年以内）もご用意しています。

教育ローン
適用金利のご案内　固定金利5年　ご融資期間5年以内
年2.50%（または）年3.00%　保証料込み
●「団体会員の方」「団体会員以外の方」で金利が異なります。●固定金利型（ご融資期間5年超7年以内、7年超10年以内）、変動金利型（ご融資期間15年以内）もご用意しています。
上記適用金利お取り扱い期間≫ 2013年4月1日から2013年9月末お申込み・実行分まで
<問い合わせは>東北労金へ　0120-1919-62